

古墳とヤマト王権

今日の問い

古墳はなぜつくられ、ヤマト王権はどこまで勢力を広げたのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 古墳とは何か、どんな古墳があるか。

前方後円墳・大仙古墳・埴輪

王や豪族の墓として土を盛り上げた墓を ¹ 古墳 といい、四角形と円形を組み合わせた形を ² 前方後円墳 という。大阪府堺市の ³ 大仙古墳 は日本最大の前方後円墳である。古墳の周りには ⁴ 埴輪 が並べられた。

2 ヤマト王権とは何か、どのように広がったか。

大王・稲荷山古墳・鉄剣

奈良盆地を中心に豪族が連合してつくった政治のまとまりを ⁵ ヤマト王権 とい
い、その指導者を ⁶ 大王 という。埼玉県の ⁷ 稲荷山古墳 と熊本県の
⁸ 江田船山古墳 から出土した鉄剣・鉄刀には、どちらも
⁹ ワカタケル大王 の名が刻まれていた。

まとめ

今日の問いに答えよう。「古墳」「ヤマト王権」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)王や豪族は、自分の力を示す墓として古墳をつくった。奈良盆地を中心としたヤマト王権は大王のもとにまとまり、5
世紀後半には関東から九州まで勢力を広げた。

